

2022年 高津区記録会開催要項

開催日 2022年11月6日(日) 予備日 未定
12:45 競技運営スタッフ集合／打ち合わせ／準備開始
13:30 競技開始(ベーラン・遠投)
14:30 ボールまわし開始
15:00 キャッチボールクラシック開始
15:30 結果発表

参加資格 ・高津区少年野球連盟に加盟している1年生～6年生

競技方法 ・ベーランと遠投は学年ごとに競技を行う
・ボールまわしは6年生の部と5年生の部で行う。
(各チームで複数チームの参加可能。全ての6年生、5年生が参加できるようにしてください。)
(同一選手が6年生の部と5年生の部の両方に出ることは不可とします。)
6年の部は6年生4名で行う。人数が足りない場合は、5年生以下も含めた編成が可能。
5年の部は5年生4名で行う。人数が足りない場合は、4年生以下も含めた編成が可能。
・キャッチボールクラシックは各チーム1チームのみのエントリーとする。(メンバー登録不要)

・競技場所と競技順番

瀬田球場 13:30～ 遠投
1. 6年生 ⑭～①の順
2. 4年生 ⑭～①の順
3. 2年生 ⑭～①の順

13:30～ ベーラン
1. 4年生(本塁から1周) ⑭～①の順
2. 2年生(二塁から本塁) ⑭～①の順
3. 6年生(本塁から1周) ⑭～①の順

14:30～ ボールまわし
6年生の部 ⑭～①の順
中等部 ベーラン・ボールまわし

15:00～ キャッチボールクラシック ①～⑦の順

諏訪第一球場 13:30～ 遠投
1. 5年生 ①～⑭の順
2. 3年生 ①～⑭の順
3. 1年生 ①～⑭の順

ベーラン
1. 3年生(一塁から本塁) ①～⑭の順
2. 1年生(三塁から本塁) ①～⑭の順
3. 5年生(本塁から1周) ①～⑭の順

14:30～ ボールまわし
5年生の部 ①～⑭の順

15:00～ キャッチボールクラシック ⑧～⑭の順

競技順 ①オール上作野球部 ②丘の上トータス ③蟹ヶ谷クラブスターズ ④久地第三レズ
⑤坂戸第一ドジャース ⑥下作延第一ペッパーズ ⑦新作第二少年野球部
⑧千年子ども会野球部 ⑨東高津野球部 ⑩久本ブルーエンジェルス
⑪溝口第三サンダース ⑫高津ドリームス ⑬二子フェニックス ⑭SSフェローズ

【遠投】

・1人2球限定やり直し無し
・一番遠い記録をとる(計測は0.1m単位)
・4コース(瀬田2コース、諏訪第一2コース) コースの幅は15mとし、コースアウトは記録しない。
多摩川の下流に向かって投げるようにし、距離計測用の5m間隔のラインを引く
(準備用具) ラインカー／石灰／メジャー(担当チームで用意)／ボール各球場1ダースずつ

【ベーラン】

・規定の塁間を走りタイムをとる。学童の塁間は23mとする。中等部の塁間は27.43mとする。(計測は0.01秒単位)
・1年生は三塁→本塁
・2年生は二塁→三塁→本塁
・3年生は一塁→二塁→三塁→本塁
・4年生以上は本塁→一塁→二塁→三塁→本塁
・ベースをしっかりと踏むこと、踏まないと無効
(準備用具) ストップウォッチ(担当チームで用意)／ベース

[ボールまわし]

- ・各チームは、メンバー表(ナガセケンコーなどの市販のもので可)に出場4名の氏名、守備位置、背番号を記載し、13:30までに3部を本部に提出する。
 - ・学童の塁間は23mとする。中等部の塁間は27.43mとする。
 - ・ボールまわしの順番 本塁→三塁→二塁→一塁→本塁→三塁→二塁→一塁→本塁
 - ・本番2回の良いタイムを記録とする。(計測は0.01秒単位)
 - ・捕球できなかった場合は、ボールを捕りにいって再開してもよい。その場合はボールを持って触塁して再開する。
 - ・カバーにチームメンバーを配置してもよい。そらしたボールをカバーの人がキャッチして、投げてボールまわしの選手に返してもよい。その場合もボールまわしの選手がボールを持って触塁して再開する。
 - ・ボールを後ろにそらして捕りにいけない場合は、記録なしとして競技終了とする。
- (準備用具) ストップウォッチ(担当チームで用意)ノベースノボール

[キャッチボールクラシック]

- ・各球場で2~3チームずつ行う。
 - ・本番2回の良い記録を取る。
 - ・1チーム9人が5人と4人に分かれ、7m離れて向き合う。
 - ・5人側の選手がボールを持ち、スタートの合図とともに向き合った相手にボールを投げる。
 - ・投げ終わった選手は自分の列の最後尾につく。ボールを捕った選手も、次に向かいあった相手にボールを投げたら、自分の列の最後尾につく。これを時間内に繰り返す。
 - ・投げたボールをキャッチしたのを1回と数える。終了時に空中にあるボールはノーカウント。
 - ・投げる時にラインをはみだすのはOKだが、補給時にラインより前に出た場合(空中であっても足がラインに掛かっている場合)はカウントしない。
 - ・ボールを後ろにそらしてしまった場合は、後ろに並んでいる人が捕りに行ってもOK。ただし次の投球は最前列の人から再開する。ボールを前に落とした場合は、前に捕りに行って、ラインの後ろまで戻った時点で回数をカウントする。もしそのままラインの前から投げた場合は、回数はカウントしない。
 - ・制限時間は2分間。その時点で空中にあるボールはカウントしない。キャッチボールが成立した回数をチームの記録とする。
- (準備用具) ストップウォッチ(担当チームで用意)ノラインカーノ球数カウンターノボール

競技担当

- ・各チーム3名以上 準備ノ審判ノ指導ノ記録ノ集計ノ選手の整列・誘導などの担当スタッフを出して協力願います。

瀬田球場担当

ペーラン: ☆蟹ヶ谷クラブスターズ、久地第三レズ、坂戸第一ドジャース
遠投: ☆下作延第一ベッパーズ、新作第二少年野球部、千年子ども会野球部
ボールまわし: ☆久地第三、坂戸第一ドジャース、蟹ヶ谷クラブスターズ

諏訪第一球場担当

キャッチボールクラシック: ☆新作第二少年野球部、千年子ども会野球部、下作延第一ベッパーズ
ペーラン: ☆東高津野球部、久本ブルーエンジェルス、溝口第三サンダース
遠投: ☆高津ドリームス、オール上作野球部、丘の上トータス
ボールまわし: ☆久本ブルーエンジェルス、溝口第三サンダース、東高津野球部
キャッチボールクラシック: ☆オール上作野球部、丘の上トータス、高津ドリームス

上記に従い、各球場担当チームが、会場の準備ノ審判ノ指導ノ記録ノ集計ノ選手の整列・誘導などを担当ください。

- ・会場の準備: ライン引きやベースの配置
 - ・審判: ペーラン: フライングや触塁の確認、遠投: 投球時のライン確認やコースアウト判定
 - ・指導: 各競技方法を選手へ説明
 - ・記録: 各競技のタイム計測ならびに記録
 - ・集計: 各学年の競技の上位3位を集計用紙に記載 ※集計用紙は連盟で準備
 - ・選手の整列・誘導: 競技順番に従い、選手の誘導や整列を行う。
- 記録用紙や集計用紙は連盟で準備します。筆記用具は各担当で持参ください。
☆印のチームは、各球場・各競技の責任担当チームとして、取りまとめをお願いします。